

## 避難訓練と生活安全教室



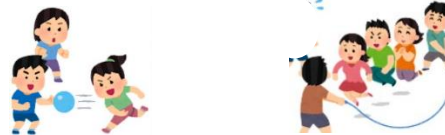
5月11日(木)に不審者侵入対応避難訓練と生活安全教室を実施しました。避難訓練では、児童は不審者侵入時の放送を覚えるとともに、教職員の指示に従って安全に素早く避難できるように行動します。「お・か・し(Ⓢさない・Ⓢけない・Ⓢやべらない)」の約束を守って、自分の身は自分で守る意識を育てます。

その後、香芝警察署生活安全課の方を講師にお迎えして、低学年と高学年に分かれて生活安全教室を行いました。低学年では、道を歩いているときなどに危ない目に遭わないためには、どうすればよいかを学びました。一人にならないこと。どうしても一人のときは、防犯ブザーを持って人通りの多い道を通ること。怖いと思ったらすぐ逃げる、交番やお店など大人に助けを求めることなどを教わりました。高学年では、非行や犯罪行為について学びました。万引きは犯罪であって絶対にしてはいけないこと。やっていいことと悪いことを考え、正しい行動をすること。物を盗んだらどうなるか考えるくせをつけること。悪いことはしない、悪い方に流されない強い心をもつことなどを教わりました。

不審者情報が頻繁に流される今、子どもたちの安全のために様々な立場の大人が見守ってくれています。子どもたちもまた、被害に遭わないために自分の安全は自分で守るという意識を育てるとともに、その対処法を身につけることが必要です。お家の方でも、登下校の通学路や普段の生活でよく通る道を子どもと一緒に歩き、安全について話し合ってみてはどうでしょうか。



## 体力テスト



5月22日(月)に体力テストを行いました。今年の体力テストは、1・6年、2・5年、3・4年がペアになってグループを作り、そのグループで測定場所を巡る方法で実施しました。上学年の児童は下学年の児童の見本になったり、アドバイスをしたりして、異学年の交流を図りながら各種目にチャレンジしました。この日は「ソフトボール投げ」「立ち幅跳び」「反復横跳び」「上体起こし」の4種目を測定しました。子どもたちは、自分の最大限の力を発揮しようと全力でチャレンジしました。体力テストは、「テスト」とは言うものの体育の成績をつける指標ではありません。自分の体力を知ることで体力について関心を高め、体力向上に向けて意欲を高めることを目指します。

小学生では子どもを運動好きにすることが、体力・運動能力の向上につながると考えられます。最近の子どもは外遊びの時間が減少しています。体力テストの結果を上げるために外で遊ぶのではなく、夢中になって遊んだり運動したりすることで、結果として数値が上がっていくのが理想です。学校では、休み時間の外遊びや体育の授業を中心に、運動好きな子どもの育成を今後も目指します。



【ソフトボール投げ】



【上体起こし】



【立ち幅跳び】



【反復横跳び】